

地区別会議資料 (蓮沼地区地域審議会)

蓮沼地区地域審議会の経緯について 《第 1 期（平成 1 8、1 9 年度）》

蓮沼地区は、地域審議会委員 15 名（公共的団体代表 6 名、学識経験 4 名、公募 5 名）で構成され、地域審議会を 6 回、その他勉強会等を 4 回開催した。

1. 開催経緯

開催日		議 題	概要
H18. 7.21	第 1 回	・会長・副会長の選出について ・地域審議会運営要綱について ・今後の会議の運営について	・会長、副会長の選出 ・運営要綱の審議 ・総合計画審議委員(地域審議会代表)の選出 ・会議の有効運営のため、勉強会の開催を決定 ・会議開催前に質問事項提案書を提出
10.11	勉強会	テーマ ・地域審議会について ・財政状況について	
10.19	第 2 回	・山武市総合計画策定基本方針(案)について ・山武市総合計画策定スケジュール(案)について	・計画策定基本方針の説明、確認 ・計画策定スケジュールの説明、確認
11.16	説明会	説明事項 ・国保成東病院及び地域医療センターについて	
H19. 1.30	説明会	説明事項 ・山武市役所の組織改編について ・行政評価を活用した総合計画の策定について	
3.23	第 3 回	・平成 19 年度主要施策について ・山武市総合計画について ・福祉問題について ・観光イベントについて	・平成19年度主要施策の説明、確認 ・新市建設計画主要施策の説明、総合計画における主要施策概要の説明、確認 ・委員による提言 ①高齢者社会と福祉コミュニティづくり ②アドボカシー相談室の設置に関する意見、要望 ③観光イベントに関する意見、要望
4.24	勉強会	テーマ ・蓮沼地区のまちづくり	
5.11	第 4 回	・「蓮沼地区におけるまちづくり」	・各委員による蓮沼地区の意見、要望 ・蓮沼地区地域審議会意見書の検討、調整 ・総合計画専門部会に関する説明
11.22	第 5 回	・蓮沼出張所の空きスペースの有効利用について ・主要地方道飯岡一宮線バイパス建設の促進について	・出張所有効利用に関する事項については継続審議 ・バイパス建設促進に関する意見の検討、調整 ・オライはすぬまの今後に関する確認
H20. 1.23	第 6 回	・山武市総合計画(原案)について	・山武市総合計画(原案)の説明、審議、確認

H19. 5. 15 地域におけるまちづくりに関する意見書が各委員の意見をもとに数回の審議をかさね提出された。

H19. 12. 13 地域の発展・活性化に関する事項について意見書が提出された。

2. 継続審議事項

- ・第 5 回時において、蓮沼出張所の空きスペースの有効利用について検討されたが審議会意見まで至らなかったため、継続審議とし、意見調整を図ることとされている。
- ・第 6 回時において、地域の環境問題と絡め、下水処理に関する意見が提示され、今後の蓮沼地区のあり方を検討すべきとされている。

平成 1 9 年 5 月 1 5 日

山武市長 椎 名 千 収 様

蓮沼地区地域審議会

会長 今 関 紘

意 見 書

蓮沼地区地域審議会は、平成 1 8 年 7 月 2 1 日の発足から 4 回の会議を開催し、新市のまちづくりにあたり蓮沼地区の状況、課題について慎重に審議いたしました。この結果を踏まえ、蓮沼地区地域審議会として別紙のとおり意見書を提出します。

別 紙

蓮沼地区地域審議会意見書

1. 観光を拠点としたまちづくり

蓮沼の観光は、太平洋に面する蓮沼海岸と蓮沼海浜公園を中心に成り立ってきました。これからも、新市の海浜リゾートゾーンとして、太平洋のイメージを通して、この地域の魅力を全国へアピールしていく必要があると考えます。

そのためには、九十九里浜の自然環境と調和した景観の形成や、地域性を活かした食の魅力の創出、さらには多様なスポーツを利用した滞在型観光を推進していくことにより、海水浴等の短期集中型の観光地から通年型への観光地づくりが求められています。

つきましては、蓮沼海岸地域の整備を実施することで新市の海浜リゾートゾーンとしての価値を高めるとともにこの地域の活性化に寄与するものと考えますので、次の事項について重点的に推進して下さるよう提言します。

- ① 侵食が進む砂浜を昔のように広く美しい砂浜に回復するために、蓮沼海岸の護岸整備の推進について
- ② 蓮沼海岸部について、観光拠点として環境保全をしていく必要があると考えますので、蓮沼海浜公園 1 号線沿線の美観の創出。次に 1 号排水路の観光的視点からの環境改善、また、蓮沼南地域での湛水問題の解決など農業政策上の整備について
- ③ 観光客の誘致と地域交流の活性化のために「サマーカーニバル i n 蓮沼」を山武市の観光事業として位置付けることについて
- ④ 蓮沼海岸の海岸適正利用整備計画の策定により海岸駐車場を含む海水浴場整備について

2. 子育て環境の改善について

女性の社会進出が進むなか、少子化、初子出産高齢化、夫婦共働き家庭の増加などが進み、子供の育つ基盤である家庭環境や社会環境が変化してきています。特に女性にとって、子育てと仕事の両立の難しさや、育児に伴う負

担の大きさが大きく意識されつつあります。

つきましては、このような現状を踏まえ、幼稚園の保育時間の延長について検討して下さるよう提言します。

3. 航空機騒音の改善について

蓮沼地域は、成田国際空港を発着する航空機空路の直下に位置するため、航空機騒音対策は大きな課題であります。

つきましては、騒音対策事業の一層の充実と騒音対策区域の拡大について推進して下さるよう提言します。

4. 旧蓮沼村役場の空き室の有効利用について

現在、旧蓮沼村役場は山武市役所蓮沼出張所として利用されていますが、使用されているのは1階部分のみであります。今後、市では旧蓮沼村役場の空きスペースの有効利用について検討されると思いますが、地域住民が活動できる場、各種団体が自由に利用できる場としての活用について検討して下さるよう提言します。

平成19年12月13日

山武市長 椎名 千収 様

蓮沼地区地域審議会

会長 今 関 紘

意見書

新市のまちづくりにあたり、平成19年5月16日、蓮沼地区地域審議会は市長へ意見を提出しました。その意見の一つとして、海岸地域を新市の海浜リゾートゾーンとして整備し、その価値が高められるよう検討していただきたく提言したところです。その中でも、この地域の発展、活性化の一翼を担う道路として位置づけている主要地方道飯岡一宮線バイパス（蓮沼海浜公園1号線）について、蓮沼地区地域審議会では、重要事項の一つとして審議をおこなっていたところです。

ついでには、主要地方道飯岡一宮線バイパスが早期完成されるよう県への働きかけを積極的に推し進めていただきたく次のとおり提言いたします。

記

本路線（主要地方道飯岡一宮線バイパス）は、九十九里沿岸の産業はもとより、千葉県東部地域の観光レクリエーションと成田方面への交通アクセスの向上に大きく寄与する重要な路線として位置づけられている。山武市において、海岸地域の経済効果を向上させる上でも重要な路線であることから県に対して積極的な働きかけをおこなっていくことが必要である。

現在、作田川、木戸川における橋梁が未整備であることから、山武市は本路線における効果が得られていない。特に木戸川橋梁の未整備は、市を二分することになり、成東地区と蓮沼地区の海岸レクリエーションゾーンの一体性が損なわれている。

この地域の一体的な発展と活性化を目指すために、この地域の骨格をなす

本路線が寸断されていることは大きな障害であり、観光資源に対する集客効果が薄れる原因の一つである。特に木戸川橋梁については、積極的な姿勢のもと、県への働きかけをおこなっていただきたい。

また、地域の安全・安心の環境をつくりあげるためにも、本路線の早期完成が必要である。現在の本路線は、未整備区間が存在していることから、本来の地域間連携道路としての役割が果たされていない。そのため、従来の飯岡一宮線が利用されることになり、本地域における当該路線では、生活道路と地域間連携道路としての役割とが混在することから市民の安全が損なわれている。

本路線を完成させることは、本地域の安全・安心の環境を構築する手段でもある。各路線の求められている役割を明確にし、本路線は、地域間連携道路として、従来の飯岡一宮線は地域の生活道路としての役割を持たせ、目的にあった利用がされる地域環境の構築を望む。

以上